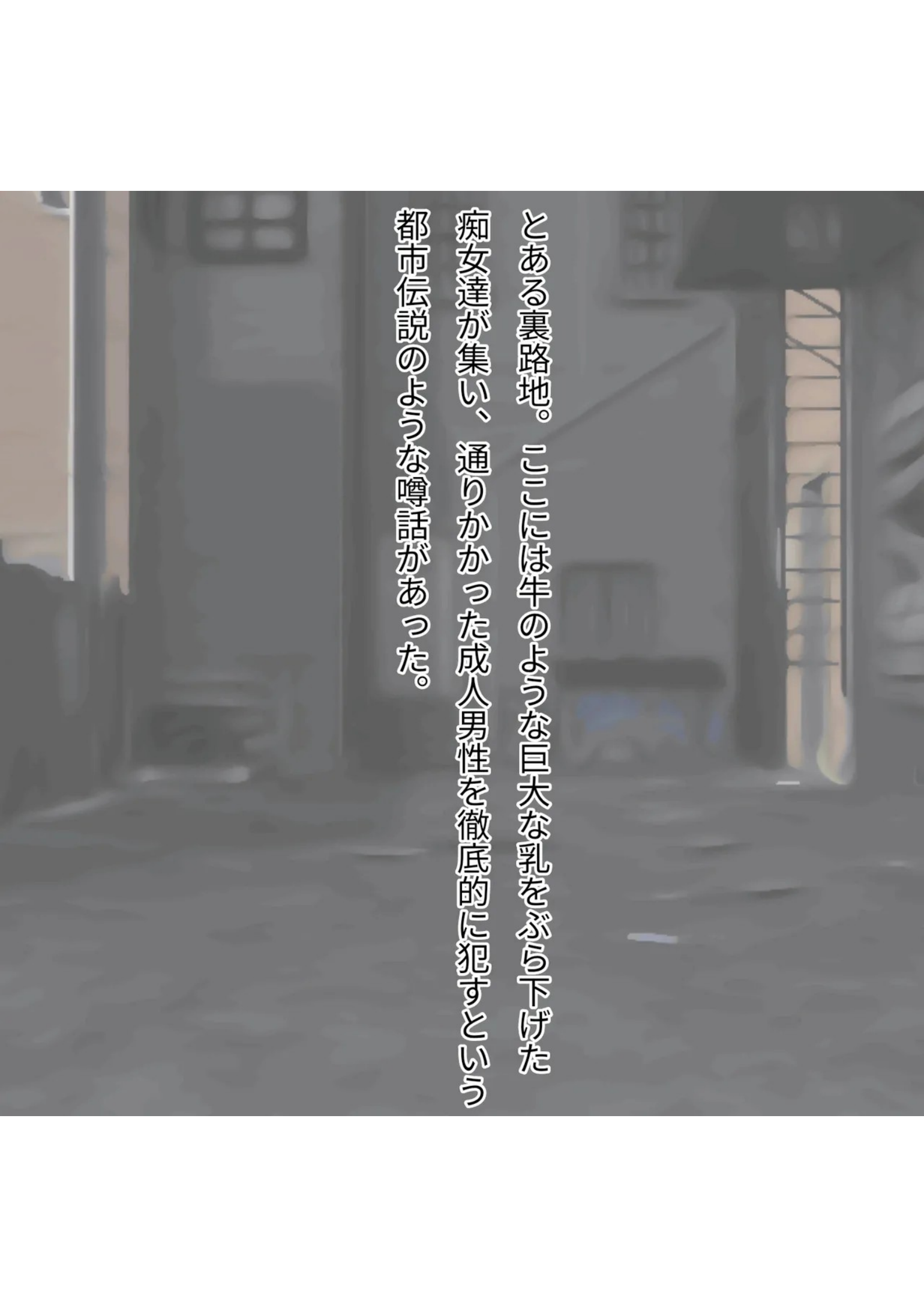




路地裏で
牛おっぱい変態痴女
を犯す話♥



とある裏路地。ここには牛のような巨大な乳をぶら下げた
痴女達が集い、通りかかった成人男性を徹底的に犯すという
都市伝説のような噂話があった。

男「確かこの路地裏だったよな…。痴女どころか人っ子一人いないが本当にあってるのか…？まあ所詮は噂話か…。真に受ける方が馬鹿つつう話だよ。」

男は草臥れたスーツを着直した。

男「さっさと帰るか。はあ…仕事帰りに何やってんだか俺…。」

???「そのおにーさんっ❤」

女「お仕事お疲れさま〜♡ご褒美にい〜♡
私とお〜えっち♡しない？♡ゆっさゆっさ

揺れてるこのLカップおっぱい揉み放題だよお〜♡

ゆさっ♡

ゆさっ♡

母乳もいっぱい♡おっぱいに溜まってるから〜♡

えっちながら搾って欲しいなあ〜♡♡♡牛さん

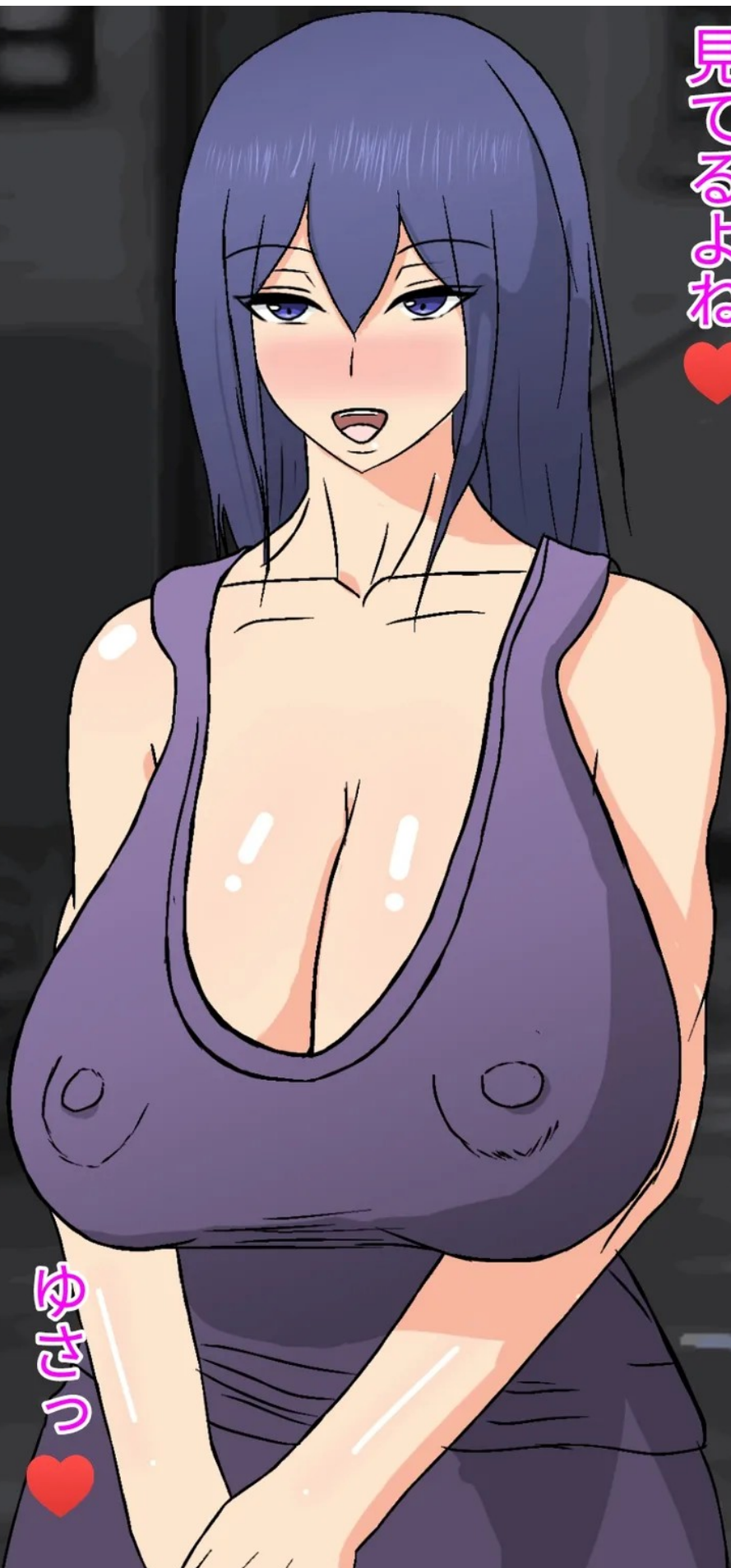
みたい〜♡びゅーびゅーおっぱい出るよお〜♡」



男「…ピキピキピキッ」

女「おにーさんさっきから私のおっぱいずっと

見てるよね



ゆさっ



もしかしておっぱいが欲しいのかなあ？



もお素直に

言ってくれればいいのに…



はいどうぞ



」

男「ダメ〜。」

ズニユ



男「そんなちゃん○んを刺激させるような事を言っちゃったらお終いよ。もう止まらないねえ。」

ぱちゅぱちゅっ

ぱちゅぱちゅっ

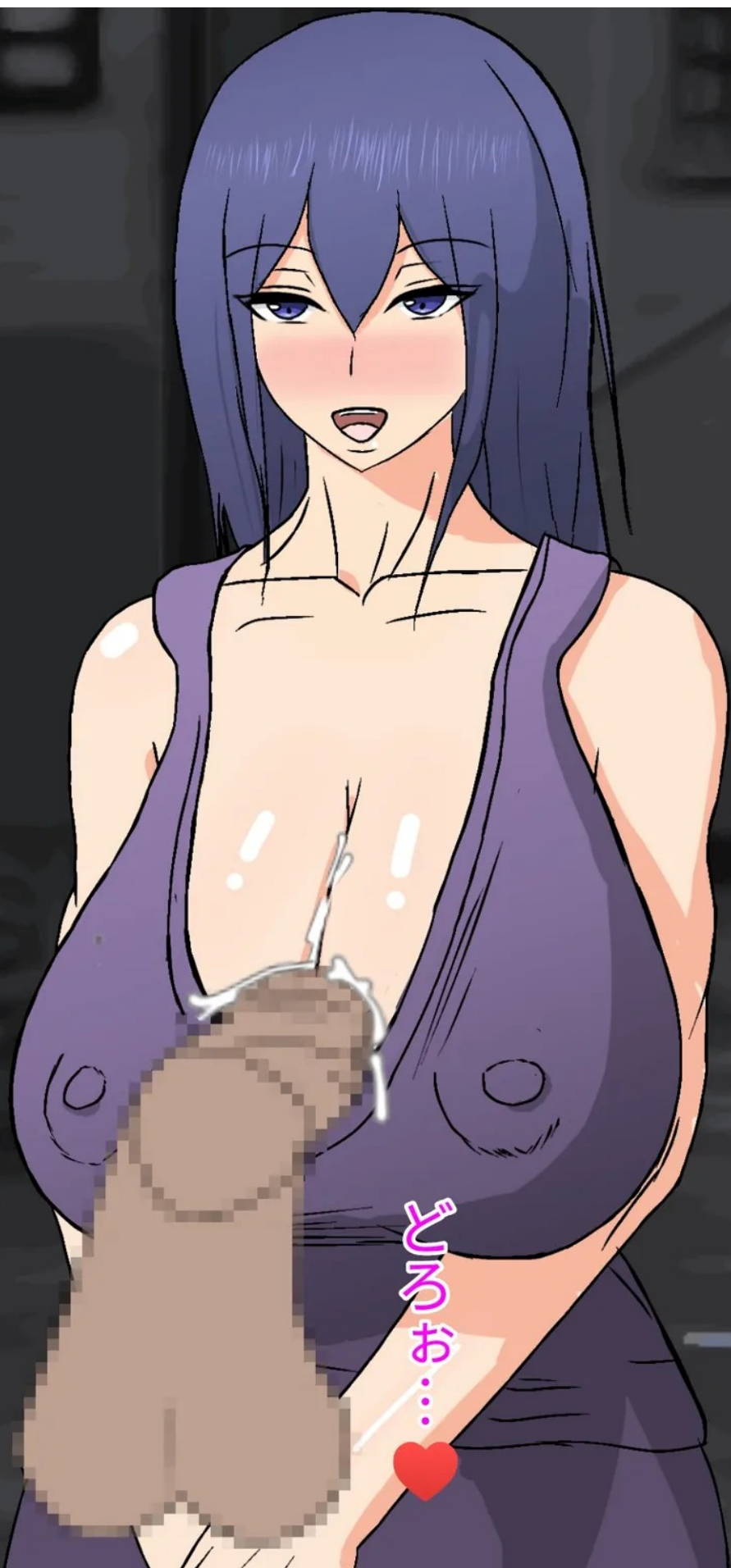
私「うふふっ…♡私のなっがい谷間おっぱいに…♡
いーっぱい♡ぴゅっ♡ぴゅっ♡出しちゃおうねー」



女「わあ〜♡いっぱい出たね〜♡頑張ったねよしよし
でもまだおちん〇んはカチカチで元気いっぱいだね〜？

どろお…♡

もう一回おっぱいにぴゅっぴゅっ♡しちやう？♡」



男「勿論だ。今度は馬乗りパイズリで犯すぜ。」

女「いやあ〜ん♥おっぱい犯されちゃう〜♥」

男「へっ……！よく言うぜ。自分から乳揺らして誘った癖によ……。パイズリで抜きまくったら次はおま○こだからな覚悟しておけ。」

ぎゅむ



女「うふふっ…♡貴方のおちん○ん…すっごく熱い♡
おっぱいをお…♡妊娠させれるように頑張って射精してえ♡」

ずちゅずちゅ♡

ずちゅずちゅ♡

男「うぐっ…!もっめる!」





どっぴゅっ



女「2回目なのにいっぱい出たね♡もう顔中せーしで

どろどろ♡舐めちゃお♡

ぬちよ…♡

ぴくん♡

ぴくん♡

ぺろっ…♡あーおいし♡もつとこの

濃厚ぷりぷりせーし飲みたいな♡」



女「今度は貴方の巨大極太ソーセージおちん
○んを、私のふんわり柔らかか牛さんおっぱいで
サンドイッチしちゃうんだ」

ぶにゅ

ぎゅむ…

上手にサンド出来るかな？」





男「ああ……！柔らけえ〜！牛おっぱい痴女の
柔らかかサンドイッチパイズリ……！はあ……！はあ……！」

びっどゅんびっどゅん

ずちゅずちゅ

ずちゅずちゅ

女「あんっ………そんなにい………おっぱい押し潰し

ちゃだめえ………母乳出ちゃう………」

男「うへっ………気持ち良すぎっ………おっぱい………」



女「ああん お乳出るううん」

どっぴゅっ

ぴゅっ

ぴゅっ

女「…まだおちん○んがびくびくしてる…
お乳が出るって聞いて興奮しちゃったあん？」

たらあ♡

ぶりゅ♡

たらあ♡

ぬちよ…♡

おちん○んが、びくんってなったからそうみたい
だね♡それじゃ、お乳が出たことだし丁度
いいから今から授乳してあげるね♡」



女「はい♡どうぞ♡あん♡♡お乳の出良過ぎいん♡♡
私の気持ち以上に身体が、貴方にお乳を飲んで貰いたがつ
てるみたい♡♡飲んでえん♡♡」

ぴゅー♡

ぴゅー♡



女「んっ…♡いい子いい子…♡その通りかかった貴方も私のお乳を飲んでいきなさいあい♡」

ぴゅー♡

男2「あっ…！えっ…！ぼ…僕ですか！？」

ちゅー♡

女「ええそうよ♡左乳が空いてるのに勿体ないじゃない♡飲んでいきなさい♡」



男2「まあ…せっかくなんで頂きます…。わあ！甘くて濃厚で美味しい！」

女「うふふっ…♡ 沢山飲んで逞しく育ってね♡」

じゅー♡

じゅー♡

女「あん…♡ 吸い付き凄すぎいん…♡ 乳首いん…♡ 感じ

過ぎて…♡ 授乳だけでイツちゃうん…♡ あん…♡ もう

限界かも…♡ 私も…♡ おちん○ん…♡ 欲しいいん…♡」



男2「じゃ僕明日早いんで帰ります。あざした！」

ジュボツ

女「もうダメ〜おちんのん

しゃぶらせてえ〜」



女「ズボボボボツ♡チユポ♡チユゴツ…♡

ジユボボボボ♡フゴ…♡フゴ…♡」

男「うおっ…！なんっ！フエラと顔だよ。

風俗嬢でもそんなおま○こひよつとこ顔しねえよ。

フエラのパキュームもやべえし…。

やべえもっ出るー！」

女「ジユボボボボ♡♡♡ジユボボボボ♡♡♡」



ド
ッ
ピ
ュ
ッ



ド
ッ
ピ
ュ
ッ



ド
ッ
ピ
ュ
ッ



女「ンゴ…♡♡♡ごっくん♡♡♡チュパチュパ…♡♡♡ジユロツ♡♡♡ペロ…♡♡♡ペロ…♡♡♡あん…♡♡♡せーしちゃん待ってえん♡♡♡

一滴残らずせーしを舐め取るのおん♡♡♡ズゾゾゾゾゾ♡♡♡ジユルツ♡♡♡ジユルツ♡♡♡ジユルツ♡♡♡」



この後の男女の性行為は獣の交尾そのものであった。



女「おっ…♡ほっ…♡おちん○ん♡♡♡気持ちいい♡♡♡

ぶるん♡

おっ…♡おっ…♡

ずっちゅ♡

ずっちゅ♡

ぶるん♡

ほお…♡ほっ…♡

おちん○ん♡♡♡好き♡♡♡おちん○ん♡♡♡好き♡♡♡」



女「おちん○ん♥おちん○ん♥おちん○ん♥
おちん○ん♥おちん○ん♥おちん○ん♥おちん○ん♥

おっ…♥おっ…♥おっ…♥

ぶるんぶるん

ぶるんぶるん

ずちゅ

ずちゅ

ぶるんぶるん

ぶるんぶるん

おほお…♥おちん○ん♥でイツちゃっつうふ♥おちん○ん

良すぎい♥イツちゃっつうふ♥



女「極太長おちん○んで

どっつっつづ

ぶっしやああああ

イッッッッグウウウウウ

ウウウ



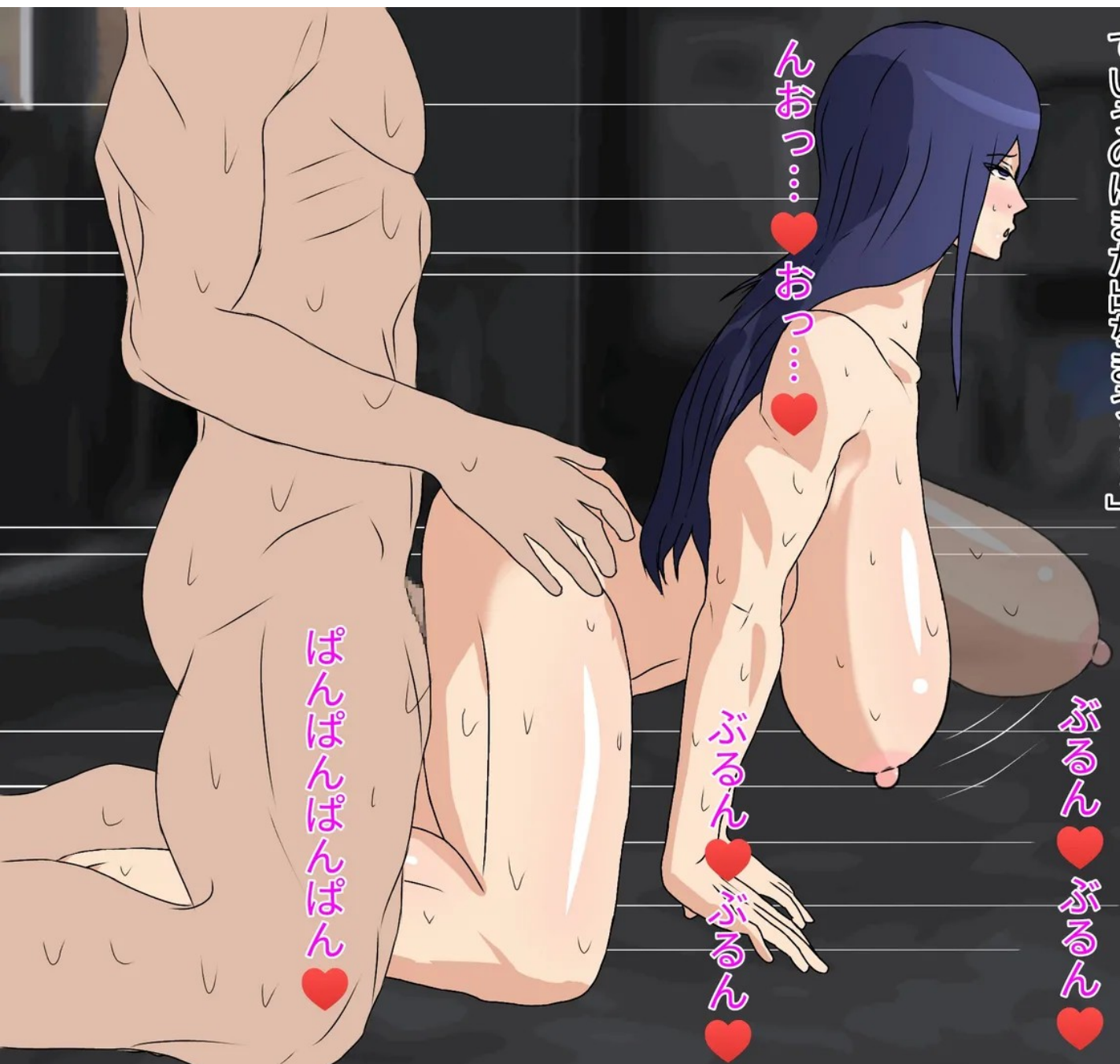
男「ああ……！最高だ……！！」のま○こお……！今日は散々イッたっ
ていつのにまた出ちゃう……！！」

ぶるん♥ぶるん

んおっ……♥おっ……♥

ぶるん♥ぶるん

ぱんぱんぱんぱん♥



男「これで最後だ！変態乳牛痴女よ……！孕めえい！！」

んおっ……♡おっ……♡

ぶるん♡ぶるん♡

じわ……♡

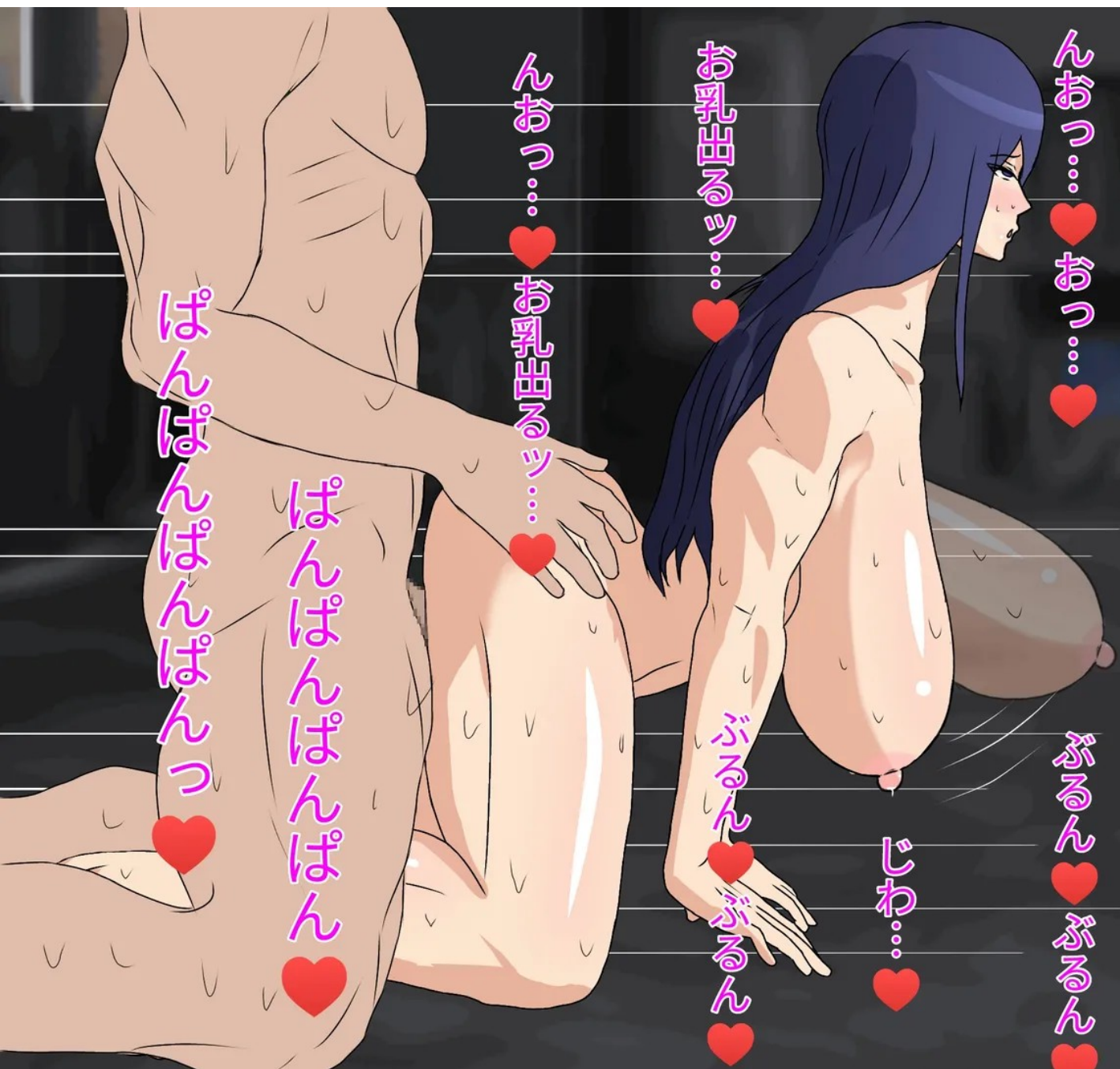
お乳出るッ……♡

ぶるん♡ぶるん♡

んおっ……♡お乳出るッ……♡

ぱんぱんぱんぱん♡

ぱんぱんぱんぱん♡





女「お乳出しながらイクっっっ



んほおおおおおおおおおおおお

おおおおおおお」



どっぴゅっっ



ぴゅー---



どっぴゅっ



ぶゅー---



びゅっ



びゅっ





この後、男女は疲れ果て、眠りに落ちた。

1時間程経った後に男は目覚めるが、そこに女の姿は無かった。

男の周辺に大量の母乳の水溜りが出来ていた。

END





















